

八代市立幼稚園再編基本方針【概要版】

1 背景及び経緯

出生数



H27 992人 → R2 817人

6園の園児数

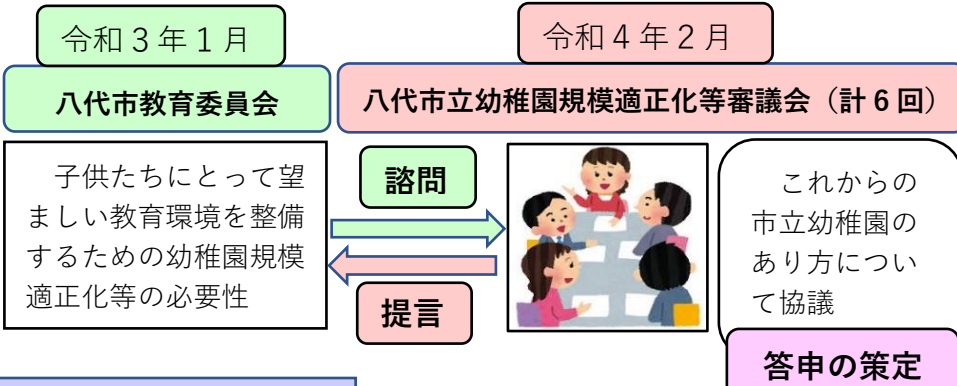


H27 262人 → R2 138人

今後、さらなる幼児の減少により、教育環境や園経営等に様々な課題が生じることが予想される。

このままでは・・・

そこで・・・



(1) 答申内容（抜粋）

①幼稚園の必要性、機能・役割

- ◆本市で幼稚園教育は大切にされてきた教育であり存続は必要である。
- ◆幼稚園教育のよさを継承し、発展的に残していく必要がある。
- ◆市立幼稚園には、培ってきた研究や実践の成果を発信する役割がある。
- ◆家庭や地域の教育力向上を支援する幼児教育センター機能が求められる。

②「選ばれる幼稚園」を目指した幼稚園経営の在り方、地域や家庭支援の在り方

- ◆子育て支援のニーズ対応……預かり保育
- ◆満3歳児保育の導入 ◆特色ある幼稚園づくり
- ◆家庭・地域の教育力を向上させる役割から家庭教育支援、就学前教育に関する啓発等の充実
- ◆幼稚園、保護者・地域の両者が主体となった幼稚園運営

③幼稚園教育の目的を果たす必要な集団の在り方

- ◆3歳児：10人程度 ◆4歳児：10～20人程度
- ◆5歳児：15～20人程度 ◇1園あたり：40人

(2) 答申を受けての取組

- ◆新規 ・満3歳児保育の試行（誕生日から入園可能）
 - ◆継続 ・預かり保育（平日、夏季休業中）
 - ・英語教育の実施（ALTの訪問指導）
- 審議会答申の取組をしたもの・・・

2 方針策定の目的

本基本方針は、市立幼稚園教育の充実を踏まえつつ、本市の未来を担っていく子供たちの健やかな成長と生きる力を育むことを目的に策定する。

3 目指す幼稚園教育の姿

(1) 幼稚園教育推進の基本方向（本市の幼稚園教育推進の基本方向）

「ふるさと・八代」の未来を担う心豊かな人づくりを目指し、幼・保等、小、中の縦のつながりと、園・家庭・地域の横のつながりの中で、子供たちの「生きる力」の基礎をはぐくむ幼稚園教育を推進する。
～「幼・保等、小、中連携」の充実をとおして～

(2) 具体的取組

①「生きる力」の基礎を育む幼稚園教育の充実

- ◆学びの基礎を育成するため、幼児期にふさわしい園生活を展開する。
- ◆遊びや生活を通して人に対する豊かな感性を磨き、表現力を育てる。
- ◆全身を使って遊ぶ体験を通じて健やかな心と体を育成する。

②幼・保等、小、中連携の充実

- ◆幼・保等、小、中の連携カリキュラムを作成し、子供同士の交流や職員同士の連携を行う。
- ◆幼稚園教育要領に基づき、幼児期の教育・保育、地域の子育て支援及び質の向上を進める。
- ◆小学校教育との円滑な接続を図る。

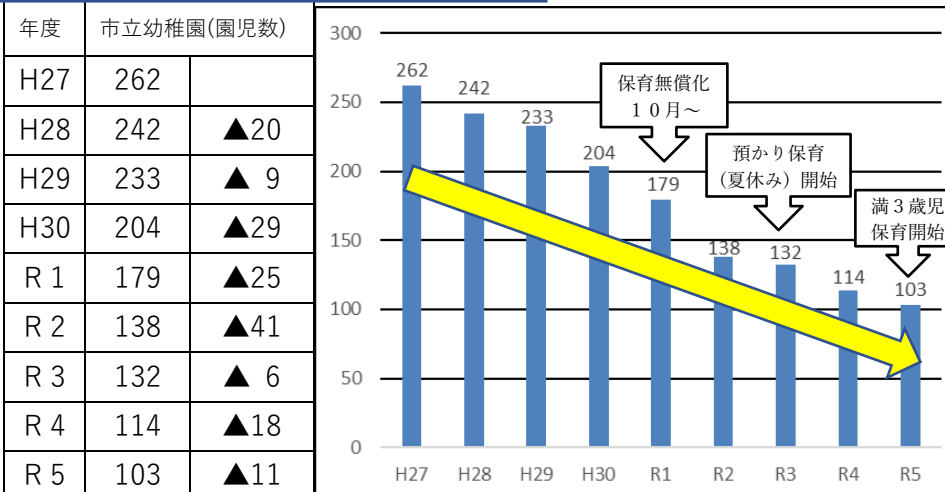


③幼稚園として求められる機能・役割

- ◆保護者や地域に対して家庭教育支援や就学前教育に関する啓発等を行うとともに、幼稚園が保護者・地域と双方向的関係を構築し、両方が主体となって幼稚園運営を行うことを目指す。

4 現状と課題

(1) 現状【園児数（6園全体）】



(2) 課題

- 市立幼稚園の定員を大きく割り込んでいる状況では、各園が行う様々な行事や活動時に適当な規模の集団が確保できず、教育活動が制限される。このことにより、本市が目指す幼稚園教育目標の達成に下記の課題があげられる。
- ◆集団の中で自己を発揮し、認め、また認められる機会の確保が困難となる。
- ◆集団での協同遊びの不足で、活動の楽しさや喜びを味わう機会が減少する。
- ◆多様な意見を出し合う経験が減少し、ものの見方や考え方が育ちににくい。

5 再編に向けた基本方針

本市が目指す幼稚園教育が推進できるよう、子供たちにとって望ましい教育環境の確保に向けて、子供ファーストの視点で、地域や保護者の理解を得ながら、また、本市の子ども・子育てに関する基本的な計画等も踏まえながら、全市的な再編について検討を進める。

(1) 再編による取組の充実・強化

- ◆幼・保等、小、中連携の体制を構築して子供の発達や学びをつなぎ、小学校以降の生活や学習の基盤を育成する。
- ◆認定こども園・幼稚園・保育所といった施設類型の違いを越えて、本市における就学前教育の質の向上を図る。
- ◆子育て相談、未就園児の親子登園など、幼稚園と家庭が一体となって幼児と関わる取組を進め、地域における幼児期の教育のセンターとしての役割を果たす。



(2) 目指す園の規模

- ◆幼稚園教育は、適当な規模の集団で行うことが望ましいとされており、さきの審議会答申で示された人数を「幼稚園教育の目的を十分発揮するのに必要な園児数・規模」として捉え、念頭に置きながら再編について検討する。

(3) 検討の進め方

- ◆本市が目指す幼稚園教育が推進できるよう、全市的視点に立って検討する。
- ◆就学前教育・保育の一体的充実を図るため、市長部局（保育所等所管部）と連携しながら市立幼稚園・保育所の統合による認定こども園化を含め検討する。
- ◆再編計画策定に当たっては、保護者、地域住民等関係者の声を聴取する。

6 スケジュール

具体的な取組み・作業	令和5年度			令和6年度			令和7年度			令和8年度		
	6	9	12	3	6	9	12	3	6	9	12	
1 基本計画						8月 教委決定						
2 保護者関係		11月 アンケート				10月 説明会						
3 市民の意見集約・周知												
4 新体制への移行準備												

実施可能なことから段階的に実施

